

平成27年度  
地球温暖化防止活動環境大臣表彰



We can  
Save the Earth

Minister of the Environment

2015.12.2

# 目 次

平成 27 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰式次第	1
1. 趣旨目的	2
2. 表彰部門	2
3. 募集対象	2
4. 各部門の表彰の対象とする功績	2
5. 応募状況	3
6. 審査方法及び受賞者の決定	3
7. 受彰者一覧	4
①技術開発・製品化部門	6
②対策技術先進導入部門	10
③対策活動実践・普及部門	12
④環境教育活動部門	20
⑤国際貢献部門	23
【参考】過去の受彰者一覧	24

# 平成27年度 地球温暖化防止活動環境大臣表彰

日時：平成27年12月2日(水)

会場：イイノホール&カンファレンスセンター

## 式 次 第

### 〈表彰式〉

13時 開会

講評

表彰状授与

祝辞

謝辞

閉会

14時 記念撮影

### 〈受賞者フォーラム〉

14時30分 開会

主催者挨拶

受彰者発表

選考委員挨拶

16時 閉会

# 平成27年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰

## 1. 趣旨目的

環境省では、平成10年度から、地球温暖化対策を推進するための一環として、毎年、地球温暖化防止月間である12月に、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、その功績をたたえるため、地球温暖化防止活動環境大臣表彰を行っています。

## 2. 表彰部門

平成27年度は、昨年度に引き続き以下の5部門において募集をしました。

- ①技術開発・製品化部門
- ②対策技術先進導入部門
- ③対策活動実践・普及部門
- ④環境教育活動部門
- ⑤国際貢献部門

## 3. 募集対象

各部門における顕著な功績のあった個人又は団体（自治体、企業、NGO、学校等。共同実施も含む。以下同じ。）及び上記の活動において連携や支援を行っている個人又は団体を表彰対象としました。また、表彰対象者は、原則として日本に在住する者又は組織の拠点を日本国内に置く団体に限っています。

※ただし、申請内容と同一の活動あるいは功績により、過去に地球温暖化防止に関する環境大臣表彰を受けているものは表彰の対象としていません。

## 4. 各部門の表彰の対象とする功績

### ①技術開発・製品化部門

L2(エル)-Tech(テック)(先導的低炭素技術)※、省エネ技術、新エネ技術、省エネ製品、省エネ建築のデザイン等、温室効果ガスの排出を低減する優れた技術の開発によりその製品化を進めたこと(商品化されていないものを含む。)に関する功績

※L2(エル)-Tech(テック)とは、Leading and Low-carbon Technologyとして、平成26年3月に環境大臣が打ち出した概念。特に先導的な低炭素技術であって、今後の導入普及によって社会全体で大幅な省エネ(CO2排出削減)を実施することが見込まれるもの。

### ②対策技術先進導入部門

コージェネレーション、ヒートポンプ、新エネ製品、省エネ製品、省エネ型新交通システム、省エネ建物等、温室効果ガスの排出を低減する技術や製品の大量導入・先導的導入に関する功績

### ③対策活動実践・普及部門

地球温暖化防止に資するライフスタイル実践・普及活動、地域における効果的な節電に関する実践・普及活動、植林活動等、地球温暖化を防止する活動の実践・普及等継続的な取組(過去の実績は短期間でも将来、持続的な発展が期待される活動を含む。)に関する功績

### ④環境教育活動部門

地球温暖化について教育資料の開発、情報の提供、学校や市民、企業内における教育活動や普及・啓発等継続的な取組に関する功績

### ⑤国際貢献部門

地球温暖化防止に資する技術移転・指導、教育普及活動、国際会議での貢献、海外での植林等、国際的な地球温暖化防止対策活動に関する功績

## 5. 応募状況

平成27年6月15日から8月5日までの間、募集を行いました。

その結果、本年度の応募総数は173件となり、各部門に次のような多数の応募がありました。

### ◆部門別応募件数

	技術開発・製品化部門	対策技術先進導入部門	対策活動実践・普及部門	環境教育活動部門	国際貢献部門	計	割合 (%)
自薦	22	8	51	25	7	113	65.3
他薦	3	4	35	17	1	60	34.7
計	25	12	86	42	8	173	100.0
各部門の割合 (%)	14.5	6.9	49.7	24.3	4.6	100.0	

### ◆応募件数の推移

	技術開発・製品化部門	対策技術先進導入部門	対策活動実践・普及部門	環境教育活動部門	国際貢献部門	計
平成22年度	27	22	31	60	2	142
平成23年度	18	32	13	41	1	105
平成24年度	32	18	39	69	2	160
平成25年度	42	23	66	61	12	204
平成26年度	45	14	90	41	7	197
平成27年度	25	12	86	42	8	173

## 6. 審査方法及び受彰者の決定

173件の応募について、平成27年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰選考委員会（委員長：三橋規宏・千葉商科大学名誉教授）で審査を行い、受彰候補者を選定しました。この選定結果を基に、丸川珠代環境大臣が計36件（技術開発・製品化部門8件、対策技術先進導入部門4件、対策活動実践・普及部門17件、環境教育活動部門6件、国際貢献部門1件）を受彰者として決定しました。

### ◆受彰件数の推移

	技術開発・製品化部門	対策技術先進導入部門	対策活動実践・普及部門	環境教育活動部門	国際貢献部門	計	応募数	倍率
平成22年度	5	5	7	8	1	26	142	5.46
平成23年度	4	6	3	8	0	21	105	5.00
平成24年度	5	4	11	10	0	30	160	5.33
平成25年度	9	5	18	10	3	45	204	4.53
平成26年度	7	3	20	7	1	38	197	5.18
平成27年度	8	4	17	6	1	36	173	4.81

## 7. 受彰者一覧

①技術開発・製品化部門(8件)		
受彰者	活動の名称	頁
株式会社エコファクトリー	輻射式大空間局所空調システムによる省エネ化の世界展開	6
株式会社大林組	高効率・低コスト型の分岐管式地中熱利用システムの開発	6
株式会社コロナ	地中熱+空気熱ハイブリッド温水暖房システム「GeoSIS HYBRID (ジオシスハイブリッド)」の開発	7
ダイキン工業株式会社	R32空調機の普及による温室効果ガス削減	7
株式会社竹中工務店、鹿島建設株式会社、国立大学法人東京工業大学、日鉄住金高炉セメント株式会社、株式会社デイ・シイ、太平洋セメント株式会社、日鉄住金セメント株式会社、竹本油脂株式会社	エネルギー・CO2ミニマム (ECM) セメント・コンクリートシステムによる建設構造物の省CO2の実現	8
株式会社竹中工務店、国立大学法人京都大学 生存圏研究所 教授 五十田 博	CO2固定化を実現する国産木材を活用した魅力的な耐震改修工法の開発と適用	8
日本郵船株式会社、株式会社MTI	SIMSの開発と安全・省エネ運航への適用 —船舶運航におけるビッグデータの活用—	9
株式会社ノーリツ	戸建住宅用ハイブリッド給湯・暖房システムへの自然冷媒採用	9

②対策技術先進導入部門(4件)		
受彰者	活動の名称	頁
学校法人愛知学院	愛知学院大学名城公園キャンパス低炭素化推進プロジェクト	10
カンケンテクノ株式会社	大気圧プラズマを用いた、工場排気ガス中の温室効果ガス除害装置の開発・製品化	10
JFEスチール株式会社	気体燃料吹込みによるCO2排出量削減に適した製鉄原料製造技術	11
東京ガス株式会社	再生可能エネルギー設備等を導入したビルの建設	11

③対策活動実践・普及部門(17件)		
受彰者	活動の名称	頁
エアeshop21	ISO14001を活用した地球温暖化防止活動 ～自動車整備工場 全国66社の挑戦～	12
ENEX株式会社	ハウス栽培における地下水熱利用ヒートポンプの普及活動	12
株式会社エフピコ	エフピコ方式の「トレー to トレー」「ボトル to トレー」で地球温暖化防止	13
株式会社大川印刷	石油系溶剤0パーセントインキの普及啓発を通じた地球温暖化防止活動	13
大崎上島けんこう文化の島づくり協議会	大崎上島アイドリングストップ運動	14
大森 利夫	理容業の地球温暖化対策—クールビズ・キャンペーン	14

表彰者	活動の名称	頁
京セラ株式会社 滋賀野洲工場	エコチャレンジ！！ 地域と共に全員参加の地球温暖化防止活動	15
甲州市塩山上東区	リサイクル活動と区民発電事業	15
静岡ガス株式会社	地域と地球の環境保全に向けた 静岡ガスの取組み	16
新関西国際空港株式会社	環境先進空港をめざしたスマート愛ランド推進計画	16
セコム株式会社	セコムの地球温暖化防止活動 ～エコロジー&エコノミー サステナブルなエコオフィス活動～	17
日本生命保険相互会社	ニッセイ未来を育む森づくり	17
ファインモータースクール	自動車教習所が発信するエコドライブ！ ～子どもからベテランドライバーまですべての人への普及を目指して～	18
株式会社メック eco ライフ 三菱地所レジデンス株式会社	低炭素社会に向けた新築マンションにおける環境配慮の取組み [soleco ソレッコ]と[マンション家計簿]	18
株式会社山全	建設工事現場発！カーボン・オフセットの実践	19
株式会社横浜八景島	横浜・八景島シーパラダイスでの“海”を活用した温暖化対策と環境教育	19
特定非営利活動法人 WAKUWAKU 西郷	地域の企業、学校、NPO との協働による環境活動	20

#### ④環境教育活動部門(6件)

表彰者	活動の名称	頁
静岡県立富岳館高等学校	富士山の緑を守れ！～神秘的な「きのこ」パワー～	20
嶋田 和夫	環境教育・環境学習等による地球温暖化防止活動	21
特定非営利活動法人センスオブアース・ 市民による自然共生バンゲア	環境教育・学習の普及	21
特定非営利活動法人とちぎ生涯学習研究会 (代表 柴田 法幸)	どんぐりから苗木一本運動	22
見附市立葛巻小学校	くずまきアースプロジェクト～わたしたちは地球の守り人～	22
米子工業高等専門学校 B&C 研究同好会	生活廃棄物からの未利用機能探索を通じた地球温暖化防止活動の実践	23

#### ⑤国際貢献部門(1件)

表彰者	活動の名称	頁
株式会社ローソン	インドネシアへのCO2 冷媒冷凍機システム導入について	23

## 輻射式大空間局所空調システムによる省エネ化の世界展開

株式会社エコファクトリー

住所：〒862-0950 熊本市中央区水前寺2-17-7 TEL：0120-539-666  
URL：http://www.ecofactory.jp

エネルギー効率を高めCO<sub>2</sub>削減と、風の無い健康・快適性を両立した、輻射式冷暖房システム「ecowin」を国内及び海外に展開している。国内では住宅、幼稚園、学校、老人ホーム、病院、ホテル、体育館アリーナ等の施設に広く採用されている。特に体育館アリーナの場合、対流式(油炊き吸収式)と比べ、ランニングコストが1/14、CO<sub>2</sub>排出量は1/12と飛躍的な省エネ性能が実現！家庭向け製品「ecowinHYBRID」は熱源に高性能エアコンを活用、既製のエアコンに輻射パネルを接続することで、最大34%の省エネを実現した。(早稲田大学環境総合研究センター評価)本特許技術を世界に展開し地球環境保護を実現する。



輻射式冷暖房システムによる省エネCO<sub>2</sub>削減

## 高効率・低コスト型の分岐管式地中熱利用システムの開発

株式会社大林組

住所：〒108-8502 東京都港区港南2-15-2 インターシティ B棟 TEL：03-5769-1771  
URL：https://www.obayashi.co.jp/press/news/20140130\_01

従来のU字管方式に代わる高効率・低コスト型の分岐管方式の地中熱利用技術を開発・実用化。その成果として、従来の地中熱方式と比べて、採・放熱率が20%以上高い地中熱交換器を導入でき、従来工法よりも設置費が25%程度安価での施工を可能とした。本技術を実施施設に導入し、温暖地の新築研究施設では、空冷ヒートポンプ冷暖房との比較で34%のCO<sub>2</sub>削減効果となり、寒冷地の既設事務所改修では、灯油ボイラー床暖房との比較で59%のCO<sub>2</sub>削減効果を実現した。



分岐管方式の地中熱交換器



## 地中熱＋空気熱ハイブリッド温水暖房システム 「GeoSIS HYBRID(ジオシスハイブリッド)」の開発

株式会社コロナ

住所：〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7 TEL：0256-35-8535  
URL：https://www.corona.co.jp/geosis\_hybrid/index.html

これまで地中熱普及の課題であった初期導入費を軽減(採熱管を約半分)し、地中温度の低下を抑えることで地中熱単独のシステムよりも省エネ性を高めることを可能とした。地中熱ヒートポンプと空気熱ヒートポンプのハイブリッド温水暖房システムは、外気温や暖房負荷の変動に応じ、最適な連動制御を行うため、採熱管を短くしても、高効率な運転を実現。これまでの灯油温水暖房システムに対しCO<sub>2</sub>排出量を46%軽減した。



地中熱＋空気熱ハイブリッドで地球温暖化防止に貢献

## R32 空調機の普及による温室効果ガス削減

ダイキン工業株式会社

住所：〒530-8323 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル TEL：06-6374-9325 URL：www.daikin.co.jp/

オゾン層保護と温暖化防止に貢献する省エネ性に優れ、GWPが低く、総合的にバランスが良いHFC32を採用。日本国内で世界に先駆けて商品化し、温暖化防止の対策を早期に実施。2015年4月のフロン排出抑制法に関しても、先行して対応すべく取り組んできた結果、日本国内では現在、全てのメーカーがR32を使った製品を上市。R410Aを使用している国内の様々な空調機の全てがR32に転換した場合には、CO<sub>2</sub>換算で年間約1400万t削減が可能となる。



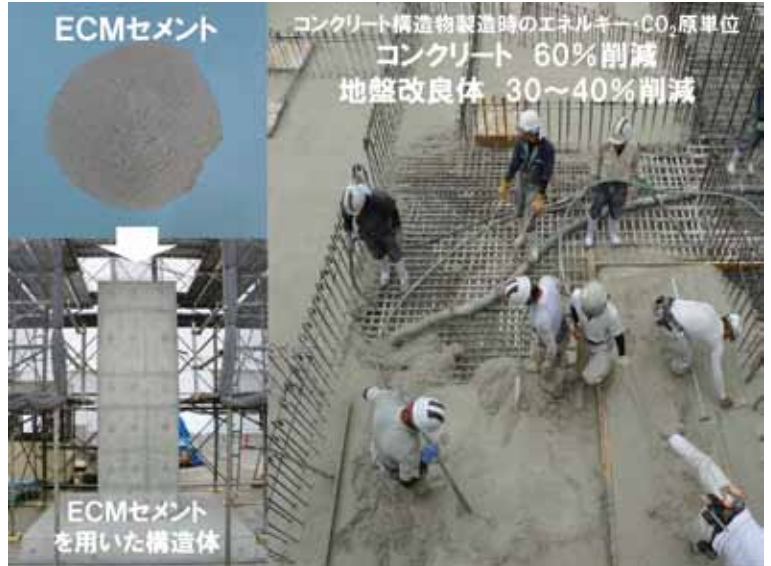
R32 空調機の普及による温室効果ガス削減

## エネルギー・CO<sub>2</sub>ミニマム(ECM)セメント・コンクリートシステムによる建設構造物の省CO<sub>2</sub>の実現

株式会社竹中工務店、鹿島建設株式会社、国立大学法人東京工業大学、日鉄住金高炉セメント株式会社、株式会社デイ・シー、太平洋セメント株式会社、日鉄住金セメント株式会社、竹本油脂株式会社

(代表)株式会社竹中工務店 住所：〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13 TEL：06-6252-1201  
URL：http://www.takenaka.co.jp/news/2015/06/01/index.html

CO<sub>2</sub>発生量を従来のセメントより6割以上削減できるECMセメントを開発。従来困難だったCO<sub>2</sub>発生抑制と施工性・強度・現性・耐久性等の基本性能の両立を果たしたECMコンクリート・地盤改良技術を確立し、適用の仕組みを整備。建設時の省CO<sub>2</sub>とコンクリート構造物の品質を両立。コンクリート構造体と地盤改良体の合計7件に適用し、従来より、エネルギー・CO<sub>2</sub>原単位を30～60%削減、計1300t以上のCO<sub>2</sub>を削減。持続可能な発展を志向する、サステナブル社会の実現に貢献した。



ECMセメントで建設構造物の省CO<sub>2</sub>を実現

## CO<sub>2</sub>固定化を実現する国産木材を活用した魅力的な耐震改修工法の開発と適用

株式会社竹中工務店、国立大学法人京大生存圏研究所 教授 五十田 博

(代表)株式会社竹中工務店 住所：〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13 TEL：06-6252-1201  
URL：http://www.takenaka.co.jp/news/2015/06/01/index.html

鉄筋コンクリート(RC)造に木質材を用いて、魅力のある耐震補強工法を開発。木質材の利用による炭素の固定、耐震改修の促進による建物の長寿命化によるCO<sub>2</sub>新規排出の抑制および森林資源の循環利用によるCO<sub>2</sub>吸収能力向上に貢献。例えば、1,700棟の学校への木質材利用により、2.2万t-CO<sub>2</sub>の固定化や建物の長寿命化による319万t-CO<sub>2</sub>の発生抑制に加え、皇居(1.4km<sup>2</sup>)とほぼ同じ面積の森林の間伐材の活用と適正な森林管理による森のCO<sub>2</sub>吸収能力が継続可能となる(当社試算)。



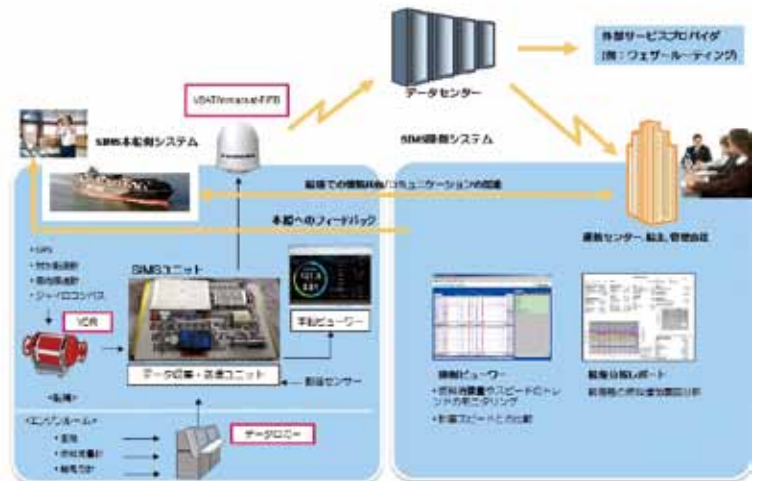
国産木材を活用した魅力的な耐震改修工法

## SIMSの開発と安全・省エネ運航への適用 —船舶運航におけるビッグデータの活用—

日本郵船株式会社、株式会社MTI

(代表)日本郵船株式会社 住所:〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 TEL:03-3284-6411  
URL: <http://www.nyk.com/csr/envi/action/warming.html#a02>

船舶の省エネ運航推進のためにビッグデータを活用すべく、パフォーマンスマネジメントシステム「SIMS (Ship Information Management System)」を開発。本システムを船舶に搭載することで、毎時間の詳細な運航状態や燃費に関するデータが自動的に陸側のデータサーバーに収集。運航に関わるデータを船陸間でタイムリーに共有することができるため、本船の船速や燃費に関するパフォーマンスや天候などの正確な状況把握に基づき、より効率的な運航や配船が可能となり、計10%の省エネ効果が期待できる。



安全・省エネ運航を深度化させる「SIMS」の開発

## 戸建住宅用ハイブリッド給湯・暖房システムへの自然冷媒採用

株式会社ノーリツ

住所:〒650-0033 兵庫県神戸市中央区江戸町93 栄光ビル TEL:078-391-3361  
URL: <http://www.noritz.co.jp/product/kyutoki/gus/hybrid.html>

潜熱回収型ガス給湯器と、自然冷媒ヒートポンプ給湯機の長所を融合して、給湯一次エネルギー効率125%の戸建住宅用ハイブリッド給湯・暖房システムを開発。ヒートポンプの冷媒には、自然冷媒R290を業界初採用しノンフロン化を図った。さらに設置された家庭の給湯使用状況を学習してハイブリッド給湯暖房機の特徴を活かし、スマート制御を採用。CO<sub>2</sub>削減効果584kg/年・台(約43%)を達成した。



ハイブリッド給湯暖房機への自然冷媒採用

## 愛知学院大学名城公園キャンパス低炭素化推進プロジェクト

学校法人愛知学院

住所：〒464-8650 愛知県名古屋市千種区楠元町1-100 TEL：052-751-2561  
URL：http://www.agu.ac.jp/project140/campus/overview.html

従来のエコキャンパスにおける「省エネルギー」に加えて「創エネルギー」の取組を実行。立地を活かした環境建築として、電力・ガス・自然エネルギーのベストミックスによる省CO<sub>2</sub>・省エネルギーと、誘引放射整流空調などを導入。省CO<sub>2</sub>対策技術および機器のコミッションング・チューニングの検証を継続することにより、年間982 tの低炭素化(標準的な大学施設の▲46.6%)。CO<sub>2</sub>排出原単位としては文系大学(49.1kg/m<sup>2</sup>)を大きく下回る29.6kg/m<sup>2</sup>と、大幅な低炭素化が実証された。



「サステナブル“創エネルギー”キャンパス」の実現

## 大気圧プラズマを用いた、工場排気ガス中の温室効果ガス除害装置の開発・製品化

カンケンテクノ株式会社

住所：〒617-0833 京都府長岡京市神足太田30-2 TEL：075-955-8823 URL：http://www.kanken-techno.co.jp

CO<sub>2</sub>を発生しないクリーンな電気で大気圧プラズマを発生させ、難分解性で且つ温暖化係数の高いPFCガスを90%以上分解する方式を確立。また、画期的な水壁反応炉の採用で、閉塞・腐食等の不具合を回避し、PFCガスと同時に導入される危険有害ガス等の粉塵負荷や腐食性の高いガスの安定・安全な除害を実現。本装置を1台設置すると、年間約2tのCF<sub>4</sub>の排出を削減していることとなり、1台の除害装置で、年間約15,000tのCO<sub>2</sub>の排出削減が可能となる。本装置だけで、年間1000万t以上のCO<sub>2</sub>排出削減を実現します。



**KPL-C13**  
大気圧プラズマ式除害装置

大気保全装置の専門メーカー

## 気体燃料吹込みによるCO<sub>2</sub>排出量削減に適した 製鉄原料製造技術

J F E スチール株式会社

住所：〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 TEL：03-3597-3772  
URL：http://www.jfe-steel.co.jp/research/pdf/21.pdf

気体燃料を焼結機に吹込むことにより、CO<sub>2</sub>排出量を大幅に低減できる革新的な製鉄原料製造技術を開発。高炉用製鉄原料である焼結鉱の製造工程で、従来使用している粉コークスの一部代替として気体燃料を使用することで、高強度で高還元性の焼結鉱の製造を可能とした。2009年1月に京浜地区焼結工場で都市ガスを用いて商業運転を開始し、年間最大6万tのCO<sub>2</sub>排出削減、2012年までにJFE 全社焼結機への導入を完了しており、CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減した。



気体燃料吹込み焼結法によるクリーンな製鉄所の実現

## 再生可能エネルギー設備等を導入したビルの建設

東京ガス株式会社

住所：〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20 URL：http://www.tokyo-gas.co.jp/csr/Press/20111012csr1.html

再生可能エネルギー設備とパッシブシステムを導入した「中規模事務所ビルにおける省エネ・環境配慮ビル」として、東京ガス平沼ビルを建設。真空管式の太陽熱集熱器によるソーラークーリングをコージェネ排熱と組み合わせ、温水・冷水のダブルカスケード利用システムとして、冷暖房に必要なガス消費量を削減。太陽光発電設備の導入、自然光、自然換気システムの利用や屋上緑化にもより、同規模の事務所ビルに比べ、年間で約100t、約30%のCO<sub>2</sub>排出量削減を達成した。



再生可能エネルギー設備等を導入した中規模事務所ビル

## ISO14001 を活用した地球温暖化防止活動 ～自動車整備工場 全国66社の挑戦～

エアeショップ21

住所：〒163-0524 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル24F TEL：03-3349-4382 URL：http://www.aireshop21.jp

エアeショップ21は、環境経営に積極的に取り組む全国の自動車整備工場66社によるグループ。加盟店である各自動車整備工場が「電力使用量の削減」「リサイクル部品の使用促進」の数値目標を毎年設定し、その達成を目指すことでCO<sub>2</sub>の削減につなげている。グループで取り組むメリットを活かし、加盟店向けに各店の好取組事例を情報共有したり、従業員研修等の教育訓練を実施。



グループ全店で目標を掲げCO<sub>2</sub>削減にチャレンジ

## ハウス栽培における地下水熱利用ヒートポンプの普及活動

ENEX 株式会社

住所：〒019-1403 秋田県仙北郡美郷町六郷東根字上中村27 TEL：0187-84-1170  
URL：http://enex-inc.co.jp

ハウス栽培における化石燃料の消費量削減を目的として開発・製造した農業用地下水熱利用ヒートポンプを提案、普及。当該ヒートポンプは、一年を通して12～15℃と安定した地下水を熱源とすることで、季節・外気温等に影響を受けずに空調能力を発揮。冷暖房ともに成績係数COPが4.19～7.46と一年中安定した高効率稼働の実現。冬季ハウス栽培における除霜を目的とした補助ボイラーの併用が不要となることにより、CO<sub>2</sub>削減効果を実現した。



ハウス栽培における地下水熱ヒートポンプ

## エフピコ方式の「トレー to トレー」「ボトル to トレー」で地球温暖化防止

株式会社エフピコ

住所：〒163-6036 東京都新宿区西新宿6-8-1 新宿オークタワー 36F TEL：03-5320-0717  
URL：http://www.fpco.jp/

1990年9月より自社で製造・販売する食品トレーを店頭回収し、トレーに再生する「トレー to トレー」のリサイクル事業を開始。この再生トレーはエコマーク認定を受け「エコトレー」の商品名で市場に流通する食品トレーの内約25%を占めるまで拡大している。更に、2010年からは回収透明容器、廃PETボトルを「エコAPET」(リサイクル透明容器)に再生する『ボトル to トレー』のリサイクルに取り組んでおり、年間約10万tのCO<sub>2</sub>排出抑制を実現している。



エフピコ方式の循環型リサイクルでCO<sub>2</sub>削減！！

## 石油系溶剤0パーセントインキの普及啓発を通じた地球温暖化防止活動

株式会社大川印刷

住所：〒245-0053 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町2053 TEL：045-812-1131  
URL：http://www.ohkawa-inc.co.jp/

印刷物の環境対応において重要なポイントとなる使用インキに着目。2005年から石油系溶剤を全く含まないインキを採用すると共に、印刷物を通し地球温暖化対策の必要性や重要性を顧客に効果的に伝えるためのツール、「環境ラベル情報カード」を開発し、普及啓発に努めて参りました。これからも横浜から、お客様・地域・社会・自然そして私たち自身も笑顔になる「まごころ」を創り続けて行きます。



本業を通じた環境貢献。地球温暖化防止の推進と啓発活動の実践。



環境ラベル情報カード

本業を通じた石油系溶剤0%インキの普及啓発

## 大崎上島アイドリングストップ運動

大崎上島けんこう文化の島づくり協議会

住所：〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江4968 大崎上島町木江支所内 TEL：0846-62-0303  
URL：http://coc.hiroshima-cmt.ac.jp/island\_osaki/o\_life/idling\_stop/

平成17年より「アイドリングストップ運動」を中心事業として推進。温室効果ガス削減と環境意識の向上を図るため、町内主要港及びスーパーマーケット駐車場で時間待ちの車両にアイドリングストップの協力を要請。あわせて延べ7,158台の車両乗車者に対し啓発活動を実施。平成24年度からは小学校に協力を求め、若年層や保護者の意識向上を推進。住民意識向上に向けては、省エネ診断、環境家計簿運動および環境紙芝居上演も実施している。



アイドリング・ストップ！

## 理容業の地球温暖化対策—クールビズ・キャンペーン

大森 利夫

住所：〒791-1105 愛媛県松山市北井門1-16-18 TEL：089-956-7777  
URL：http://www.riyo.or.jp/

平成19年から全国理容連合会加盟店(約6万店)において、ヘアドライヤーを使わずにタオルドライのスタイリングが可能な「クールビズ・ヘア」や、髪を1cm短くして体感温度を1℃下げる「涼しさのヘアスタイル」の普及を行うとともに、店内温度を28℃に近づける「理容室クールビズ宣言」の推進を実施。平成20年からは、9月第2月曜日を「理容ボランティアの日」と定め、地域の環境保全活動等を実施し、地域社会における地球温暖化防止対策意識の高揚と浸透に取り組んでいる。



身近な理容サロンより広く社会に「省エネ発信」



## エコチャレンジ！！ 地域と共に全員参加の地球温暖化防止活動

京セラ株式会社 滋賀野洲工場

住所：〒520-2362 滋賀県野洲市市三宅800 TEL：077-587-8800 URL：http://www.kyocera.co.jp

全工場従業員より省エネに対する改善対策を募集、従業員全員参加型の温暖化防止・環境保護活動に努力。地元小学校では、太陽電池を教材に環境出前授業を開催、国際湖沼環境委員会を通じてアジア・アフリカ地域の将来の環境政策を担う若手技術者への太陽電池の製造方法および設置事例紹介や排水処理方法等を知って頂く機会の提供。近接する「野洲川自然の森」での森づくり活動への参加や、地域清掃への協力など、地域と一体となった環境活動に積極的に取り組んでいる。



地域と共に全員参加の地球温暖化防止活動

## リサイクル活動と区民発電事業

甲州市塩山上東区

住所：〒404-8501 山梨県甲州市塩山上於曾 1085-1 甲州市役所 環境政策課 TEL：0553-32-2111  
URL：http://www.city.koshu.yamanashi.jp/

平成5年からリサイクルステーションを設置し、ゴミの分別の徹底を行うとともに減量化、再資源化に取り組み、回収された資源ゴミの対価で防犯灯の維持管理を実施。平成23年からは商店街の街路灯や区内全域の防犯灯のLED化に取り組み、電気料金の大幅軽減を住民に実証し、各家庭でのLED化の促進に貢献。また、CO<sub>2</sub>削減や住民意識向上を目的にリサイクルステーションに太陽光発電パネルを設置、災害発生時の非常用電源とするなど、地球温暖化対策活動に取り組んでいる。



リサイクル活動で防犯灯のLED化と太陽光発電

## 地域と地球の環境保全に向けた 静岡ガスの取組み

静岡ガス株式会社

住所：〒422-8688 静岡県静岡市駿河区八幡1-5-38 TEL：054-284-4141  
URL：http://www.shizuokagas.co.jp/

お客様や地域との環境コミュニケーション活動や事業活動における積極的な省エネと環境保全活動を推進。自然エネルギーと天然ガスコージェネレーションを融合させた環境配慮型ビルである本社ビルは、BEMSの活用と環境マネジメント活動により、2014年度は同規模の建物と比較して一次エネルギー消費量54%削減を実現。環境に配慮した料理教室や環境エネルギー教育など1,000回以上の環境教育の開催、本社ビルや低炭素型モデルタウンの見学会の開催など多様な手法で幅広い世代への環境啓発にも取り組んでいる。

■「エネルギーの未来を形にした建物」 静岡ガス本社ビル



地域の環境保全と持続可能な社会づくりを目指して

## 環境先進空港をめざしたスマート愛ランド推進計画

新関西国際空港株式会社

住所：〒549-8501 大阪府泉佐野市泉州空港北1 TEL：072-455-2176  
URL：http://www.nkiac.co.jp/env/

公害の無い、地域と共存共栄する空港づくりを原点に、資源循環、生物多様性に配慮した地球環境への負荷の少ない環境先進空港をめざし、スマート愛ランド推進計画に取り組む。2013年度からは水素、太陽光、風力エネルギーの活用等、空港施設等からのCO<sub>2</sub>排出削減を強化。2015年度には新たにメガソーラーが稼働。また、燃料電池フォークリフト実証事業を進めており、商用水素ステーションなど水素活用モデルの構築をめざしている。



環境先進空港をめざして ～スマート愛ランドへ～

# セコムの地球温暖化防止活動 ～エコロジー&エコノミー サステナブルなエコオフィス活動～

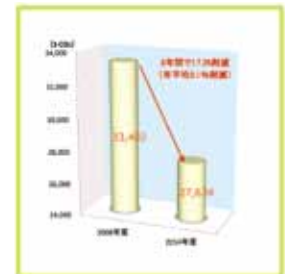
セコム株式会社

住所：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-5-1 TEL：03-5775-8518  
URL：http://www.secom.co.jp/corporate/csr/report

2008年に環境施策の企画立案・推進を担う「社会・環境推進部」が発足、CO<sub>2</sub>排出量の半分づつを占める「オフィスの電気」と「車両燃料」の使用量削減に取り組む。「オフィスの電気」については、節電・省エネ活動、社員の自主参加による「セコムecoチーム活動」、省エネ機器の積極的導入、社内報や「環境のホームページ」を活用した啓発活動など多様な取り組みを実施した。その結果、2014年度のオフィスの年間電気使用量を2008年比で17.3%抑制し、CO<sub>2</sub>排出量を5,768t-CO<sub>2</sub>削減した。



セコム15,000人の地球温暖化防止活動



オフィスの電力使用によるCO<sub>2</sub>排出量



削減したCO<sub>2</sub>排出量の内訳

## ニッセイ未来を育む森づくり

日本生命保険相互会社

住所：〒100-8288 東京都千代田区丸の内1-6-6 日本生命丸の内ビル TEL：03-5533-1347  
URL：http://www.nissay.co.jp/kaisha/csr/kankyo/

地球環境を次世代へ引き継ぐことを願い、平成4年から森づくりをスタート。平成27年度で24年目を迎え、全国187カ所のニッセイの森(国有林)に131万本の苗木を植樹。平成14年からは、下草刈りや枝払い、間伐といった育樹作業に着手。植樹から育樹まで一貫することで、環境や生態系に配慮した多彩な森づくりを推進。公有林や私有林にも取り組み、地域に密着した取組を続けている。係る費用は全て、役職員等からの寄付で成り立っており、環境意識醸成にもつながっている。



“ニッセイ筑前の森”育樹活動

# 自動車教習所が発信するエコドライブ！～子どもからベテランドライバーまですべての人への普及を目指して～

ファインモータースクール

住所：〒330-0804 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町2-322-3 TEL：048-641-7185  
URL：http://www.fine-motorschool.co.jp/

自動車運転免許取得段階でエコドライブが身に付く「楽エコ教習」を実施し、約1万5千人のエコドライバーを輩出。教習料金の一部をNPO法人へ寄付し、森づくり活動を支援。小学校への出前授業、地域イベントなどでエコドライブ啓発。埼玉県庁と協働し市町村職員対象にエコドライブ指導者養成講習を実施。法人ドライバー向けにエコドライブ研修。燃費管理サイトを運営するなど、世代や属性を問わず、様々な人達に向けて多様な取り組みを実施。



楽エコ教習を基軸とした多様なエコドライブ啓発活動

# 低炭素社会に向けた新築マンションにおける環境配慮の取り組み [soleco ソレッコ]と[マンション家計簿]

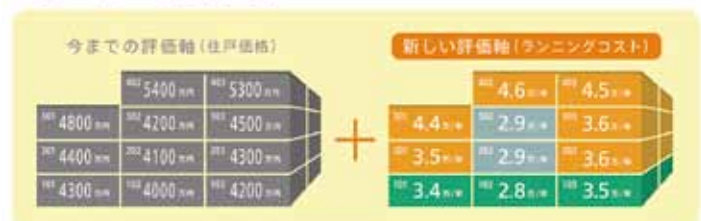
株式会社メック eco ライフ、三菱地所レジデンス株式会社

(代表) 株式会社メック eco ライフ 住所：〒100-0004 千代田区大手町1-6-1 大手町ビル TEL：03-5222-9671  
URL：http://mececolife.co.jp/

マンションの省エネをテーマに、ハードとソフト2つの活動を実施。住人の生活を変えることなく環境貢献できる独自の取り組みを推進。ハードの「soleco(ソレッコ)」は、「高圧一括受電」と「太陽光発電」を組み合わせたシステム。発電した電力を共用部で使用することにより、電気代の削減が可能となる。ソフトの「マンション家計簿」は、住戸ごとの一次エネルギー消費量が見える化。マンション販売現場(首都圏)で累計60,000部を配布、啓発に努めた。



## マンション家計簿



新築マンションにおける環境配慮への取り組み

## 建設工事現場発！カーボン・オフセットの実践

株式会社山全

住所：〒778-5251 徳島県三好市池田町白地井ノ久保929-2 TEL：0883-74-1670  
URL：http://www.our-yamazen.co.jp

工事の重機類から排出されるCO<sub>2</sub>に相当するクレジットを購入し、工事現場でのカーボン・オフセットを積極的に推進。また、地元スギ間伐材を活用した移動式口グハウス「らく～だハウス」を開発、工事現場管理棟として導入。ISO14001の認証取得をはじめ、工場現場でのCO<sub>2</sub>削減にも創意工夫して取り組むなど、環境配慮経営を継続して実施した。



建設工事現場発!! カーボン・オフセットの取り組み

## 横浜・八景島シーパラダイスでの“海”を活用した温暖化対策と環境教育

株式会社横浜八景島

住所：〒236-0006 神奈川県横浜市金沢区八景島 TEL：045-788-8888 URL：http://www.seaparadise.co.jp

海洋を舞台とした新たな脱温暖化プロジェクト「横浜ブルーカーボン」に賛同し、海洋生物による炭素固定化等の実証実験を協働実施。レジャー施設を活用し、「わかめ植付け・収穫イベント」など子供たち対象の海洋資源活用による温暖化対策等の環境教育を推進。「電力見える化」システムを導入し、省エネ・節電行動の社員教育や設備等の運用改善により、ピーク電力の抑制を実施。海水のエネルギーを熱源としたヒートポンプを水族館空調設備に導入した。



“海”を活用した温暖化対策と環境教育

## 地域の企業、学校、NPO との協働による環境活動

特定非営利活動法人 WAKUWAKU 西郷

住所：〒436-0343 静岡県掛川市五明98 TEL：0537-28-0252  
URL：http://wakuwaku3150.jimdo.com/

古紙回収の実施とその収益金を活用した太陽光発電施設の設置、環境活動の実施。設置した太陽光発電施設を利用した、地球温暖化防止の啓発及び環境学習講座の開催。また、地区内街灯のLED化推進。雨水タンクや緑のカーテン設置推進による温暖化防止活動、絵本のリユース事業、店舗・事業所への資源化回収ボックス設置による、売払金を活用して市内小中学校へのICT寄附活動（ごみの減量、不特定多数の市民参加・協働、学校教育支援）に取り組んでいる。



古紙回収の収益で小学校に設置した太陽光発電設備

環境教育活動部門

## 富士山の緑を守れ！～神秘なる「きのこパワー」～

静岡県立富岳館高等学校

住所：〒418-0073 静岡県富士宮市弓沢町732番地 TEL：0544-27-3205  
URL：http://www.fugakukan-h.sakura.ne.jp/

富士山麓・朝霧高原のキノコ（フェアリーリング現象）から新たな植物成長調節物質を抽出し「AHXチップ」を開発。チップを富士山等の植栽工に活用することで植樹した樹木の活着率や森林の保水性を高め、CO<sub>2</sub>の削減に貢献。生徒が主体となり、環境問題の解決に向けた取り組みを通し、問題解決能力やプレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を図った。また、地域への環境保護の啓発活動を行う「持続的発展教育」でも成果を上げている。



地球に優しい「第3のエコ資材」で富士山緑化に挑戦

## 環境教育・環境学習等による地球温暖化防止活動

嶋田 和夫

住所：〒251-0037 神奈川県藤沢市鵠沼海岸2-10-25 TEL：0466-34-6249

県内の子どもを対象に実験・調査観察等を通じた体験型学習を実施し、地域の環境教育・環境保全活動の推進を担うリーダーを育成。県内各地で開催される環境イベント・展示会での普及活動・環境セミナーや教職員研修会及び地域リーダー研修会の講師を含めて2004年から延べ100件程度実施。また、アジェンダ21 かながわ環境活動支援コーナーのアドバイザーとして、平成17年4月から、環境相談支援活動を毎年約60日、累計で約530日の相談を受け入れている。



ペンシル風船で静電気を作り紙筒や空き缶を転がす実験

## 環境教育・学習の普及

特定非営利活動法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

住所：〒174-0063 東京都板橋区前野町4-8-6 TEL：03-3960-6052  
URL：http://npo-soe.jp/

平成16年からこれまで20を超える、環境教育・学習の普及のためのプログラムを開発し、1万人を超す幼児・小中学生を対象に、区内教育機関等での環境教育出前授業を実施。板橋区内にある全ての保育園、小・中学校に向けて、季節のお勧めプログラム集を発送し、季節に応じた自然体験を紹介。これが、出張授業につながり、平成26年度は、15の保育園・小中学校で年間24回の出張授業を実施。890名の園児・児童・生徒に環境教育の機会を提供した。



生きものたちの紙芝居やカードを使った自然への気づき

## どんぐりから苗木一本運動

特定非営利活動法人とちぎ生涯学習研究会(代表 柴田 法幸)

住所：〒321-0931 栃木県宇都宮市平松町525 P-5-101 TEL：028-633-0805  
URL：http://www.geocities.jp/npo\_lsst/index.htm

循環型の植樹活動であり、法人設立10周年には「どんぐりから苗木一本国民運動」全国キャラバンを実施。現在は国際的な波及を目指し「どんぐりから苗木一本運動 World Caravan」を行っている。「とちぎの子ども育成憲章」の実践事例の第一号として県のHPで紹介されているほか、今年度から、環境省主催のESD環境教育プログラム実証事業の栃木県地域事務局に任命。延べ3,000人以上の人々が参加し、累計5000本を超える苗木を植樹した。



循環植樹から学ぶ子どもと社会の創育活動

## くずまきアースプロジェクト～わたしたちは地球の守り人～

見附市立葛巻小学校

住所：〒954-0085 新潟県見附市反田町10 TEL：0258-62-0689 URL：http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~kuzumaki/

児童に地域の人や、自然との多様な関わりを尊重する態度や実践力が育つことを目指し、学校環境の緑化活動やエコ活動に、学校、保護者、地域住民が一体となり取り組み、平成13年から14年間継続。活動のきっかけとなった「くずまきの森を育てる活動」には、延べ700名が参加し、80種類、約500本の樹木が育っている。「わたしたちは地球の守り人」を合言葉に一人一人ができることは何かを考え、協働実践する風土を醸成してきている。



新スマイル園(金沢園)による花活動



学校玄関に飾りをつける子どもたちが育てた花々

### くずまきアースプロジェクト～私たちは地球の守り人～



「くずまきの森コンサート」学校の森での金管部の演奏



夏の暑さを和らげるゴーヤのグリーンカーテン

児童・保護者・地域住民の協働によるプロジェクト